

第4回都川流域懇談会の意見要旨

番号	項目	意見の内容	意見要旨	回答
No.1	都川の整備状況	六方都市下水路	(中居委員) 六方都市下水路の名称について、都市下水路というと下水路だから汚いものを捨てていいんだと市民の方は誤解を招くおそれがあるので、何か粋な名前に変えていただくよう、10年前から文書で何回も要望陳情を重ねているが、どうなっているのか伺いたい。	ご意見のとおり、六方都市下水路は葎川の上流域にあり、水質の改善や緑道の整備も進み、貴重な水辺空間として近隣の皆様に親しまれております。 単に排水路の機能だけでなく、今後さらに市民の皆様とともに良好な水辺空間を形成していくことを期待して、新たな名称を設定中です。
No.2	都川総合親水公園	公園整備	(田中委員) 都川総合親水公園の基本計画について、従来の都市型の庭園的なイメージを受けることから、この地域にしかない植物(デンジソウ、ミズオオバコ等)や景観等に配慮したうえで、文化や歴史を伝承ができるような公園整備を望む。	今後、基本設計・実施設計を進める中では、計画地の自然環境に配慮するとともに、計画地の文化や歴史を伝承できる公園を検討します。 また、公園管理については、市民二一ズに沿った管理を検討するとともに、市民の方々が維持管理にも参加しやすい公園づくりを検討します。
No.3	都川総合親水公園	管理手法	(小川委員) 公園管理にあたって、市民参加も配慮した計画を望む。 また、自然と人間がお互いに調和のとれるような管理手法を検討されたい。	
No.4	都川総合親水公園	展望施設	(中居委員) 展望施設の計画は鳥類等に配慮した場所への設置を検討されたい。	
No.5	都川総合親水公園	斜面林との連続性の確保	(田中委員) ニホンリスの生息環境に配慮して、存置する旧河道のオニグルミと周辺斜面林との連続性の確保を望む。	
No.6	都川総合親水公園	自噴井	(川戸委員) 自噴井の歴史や、過去の状況を広く知らせてもらいたい。	
No.7	太田堰の保存	保全	(中村委員) 保全には、地域の方々との協力関係が重要。	地域の方々との保全について意見交換を重ねながら、保全に向けての仕組みづくりを進めます。
No.8	太田堰の保存	保全	(田中委員・川戸委員) 単なる旧河道を残すだけでなく、歴史・文化(弁天様の石碑等)の保全を望む。	現状の水辺・自然環境をそのまま保全します。